

# 編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
105-86	中学校	国語科	国語	第1学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
17教出	国語017-72	伝え合う言葉 中学国語 1		

## 1. 編修の基本方針

「学びのチカラで人と社会を未来へつなぐ」

自ら問い、考え続け、社会を創っていく子どもたちを育てたい。  
そのような思いをこめて、私たちはこの教科書をつくりました。



## 言葉との出会いが、未来を共創する

言葉で考え、言葉で理解し、言葉で伝え合う。それが生きる力の源です。  
多様な価値観をもつ他者ととともに、新しい未来を切り拓く力を育むことを基本方針とし、  
次の三つの学びの実現を目指しました。

### 特色 1

「学び」が  
見える

### 自覚的な学びをいざなう

教材で身につけたい力や学習活動の重点を明確に示し、生徒の主体的な学びを引き出すための「学びナビ」を設けました。

生徒が自分自身の力で学びを見通し、振り返ることができ、学習に取り組む意欲を引き出します。

### 特色 2

「学び」が  
深まる

### 確かな言葉の力を育む

予測困難な時代を生きる生徒たちには、多様な課題に向き合い、解決する意欲や力が求められます。そうした現代の課題を捉えた教材群を選定しました。

豊かな言葉をとおしてさまざまなものの見方・考え方を知ること、国語科における資質・能力を育み、深い学びを実現します。

### 特色 3

「学び」が  
つながる

### その先の未来に生きる

持続可能な社会を実現するために、教科書での学びを日常生活や他教科等の学習に生かし、生徒自身の成長へつなげます。

多様な価値観をもつ他者との出会いや交流をとおして、自分の言葉で伝え合う協働的な学びが、新しい未来を生きる力となります。



特色

# 1 自覚的な学びをいざなう 「学びが見える教科書」

学びを見通す

### 【目標】

生徒が学習の見通しをもてるよう、教材の冒頭に、指導事項にそった学習目標を明示しています。

- \*「知識及び技能」を主とした目標
- \*「思考力、判断力、表現力等」を主とした目標

### 【学びナビ】

教材を読み深めていくための視点を、教材の前に示すことで、生徒は学びへの明確な視点をもって、学習に取り組むことができます。

### 【読むこと（みちしるべ）】

- 学習指導要領の学習のプロセスに即した教材の手引きを掲載しています。
  - \*内容を捉えよう…構造と内容の把握
  - \*読み深めよう…精査・解釈
  - \*自分の考えを伝え合おう…考えの形成、共有
- 主体的に学習に取り組む態度を育む、下記のような問いを設置しています。
  - \*「学びナビ」で取り上げた内容に関連する問い
  - \*他領域との複合的な問い
- 生徒を主体的・対話的で深い学びにいざなうため、下記のような「参考」を掲載しています。
  - \*問いを考えるための着眼点
  - \*生徒によるノートのとめ方の例
  - \*生徒による会話例

### 【話すこと・聞くこと/書くこと（学習活動）】

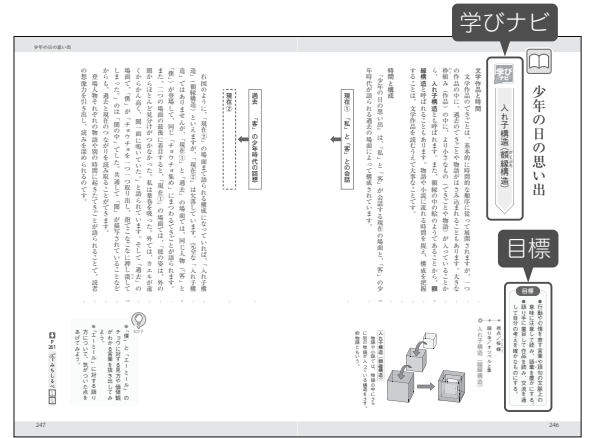
- 学習指導要領の学習のプロセスに即して言語活動を展開しています。
- 学習活動の流れや生徒の話例・文例と学習活動のポイントを対応させて、活用しやすく示しています。

### 【振り返り】

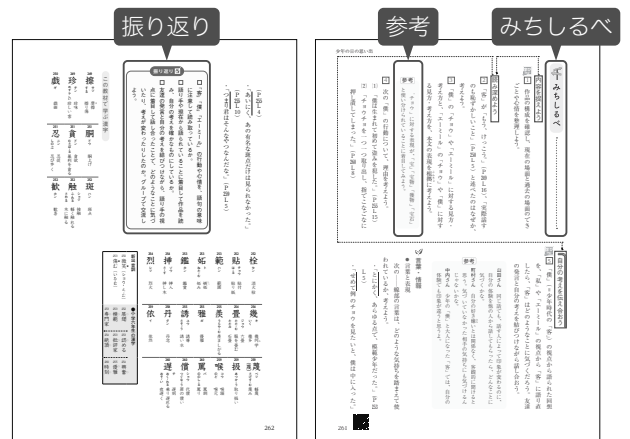
学習目標に即した、次の学びにつながる振り返りを掲載しています。

- \*「知識・技能」「思考・判断・表現」の振り返り
- \*「主体的に学習に取り組む態度」の振り返り

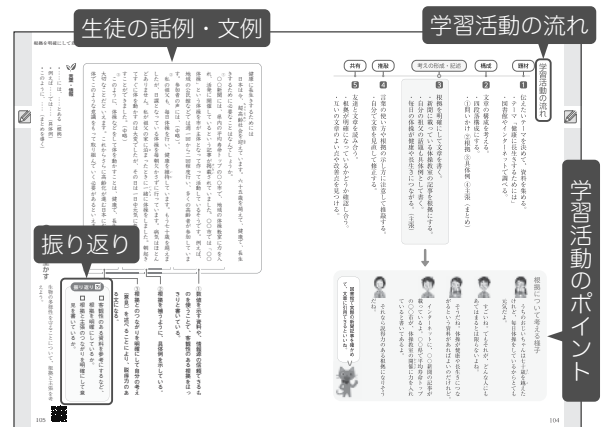
学びを確かめる



読むこと：P246・247「少年の日の思い出」



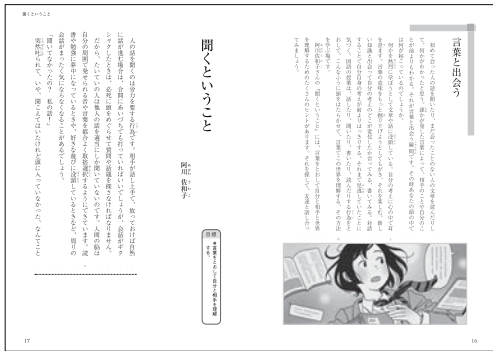
読むこと：P261・262「少年の日の思い出」



書くこと：P104・105「根拠を明確にして意見文を書く」

## 確かな言葉の力を育む

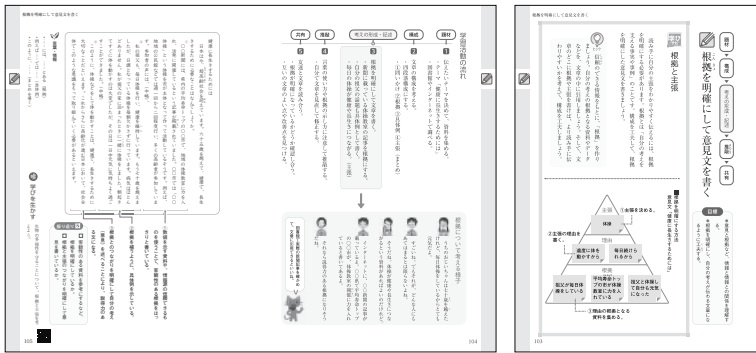
### 「学びが深まる教科書」



入門期：P16・17「言葉と出会う」『聞くということ』

#### ●小中の円滑な接続

- 小学校での国語学習を引き継ぎ、中学校の国語学習を始める意欲を高める入門期教材を設定しています。小中の緊密な連携を図りました。
- 小学校国語教科書でなじみの深い金子みすゞの詩『ふしぎ』を巻頭に置き、続く随筆教材『聞くということ』（阿川佐和子）とあわせて、言葉で「伝え合う」意義を学ぶ単元を設定しました。



P103～105「根拠を明確にして意見文を書く」

#### ●主体的で対話的な学びを引き出す教材

- 予測困難な時代を生きる中学生が向き合う、多様かつ今日的な課題を取り上げた教材を設定しました。自らの言葉で考え、表現し、他者と交流して協働的に課題を解決する力を養います。
- 「読むこと」教材の「みちしるべ」や、「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材の「学習活動の流れ」などで学習の重点を示し、生徒たちが見通しをもって効果的に学習を進められるようにしています。



## その先の未来に生きる

### 「学びがつながる教科書」

#### ●世界につながるSDGs教材

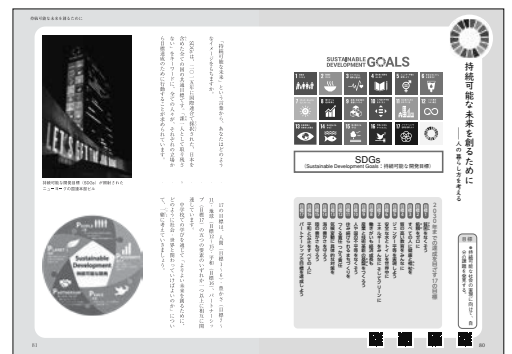
SDGs教材『持続可能な未来を創るために』を設けました。生徒が社会や日常生活の中から課題を見だし、解決のために自分自身ができる取り組みについて、考えを深めることができます。

#### ●社会につながる情報・メディア教材

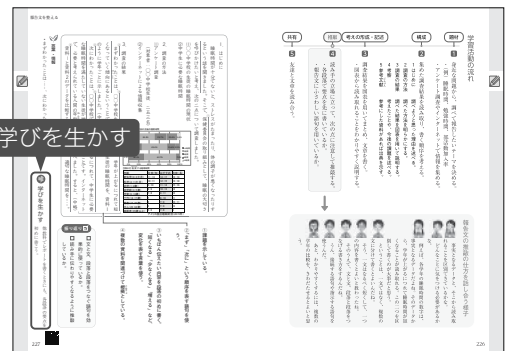
写真や広告などを扱う「情報・メディアと表現」を設けました。文字と文字以外の表現をあわせて読解することで、生活の中にあふれる情報との向き合い方を考えることができます。

#### ●実生活につながる活用例「学びを生かす」

「話すこと・聞くこと」「書くこと」の教材末尾に、「学びを生かす」という項目を設けました。学んだことを国語の授業内にとどめず、他教科の学習や学校生活・社会生活にどのように生かすことができるかを示しています。



SDGs教材：P80・81「持続可能な未来を創るために」



「学びを生かす」：P226・227「報告文を整える」

## 2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
巻頭	*現代の人々の共感を集める童謡詩人の詩『ふしぎ』にふれることによって、他者を尊重する態度を育てることができるよう工夫しました。(第5号)	前見返し
一 学びをひらく	*教材『聞くということ』をとおし、他者の話を聞き、他者との関係性を豊かにする大切さを学ぶことで、個人の価値を尊重し、その能力を伸ばすとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養えるよう工夫しました。(第2号) *文学作品の表現や構成の特徴を学べる教材『桜蝶』をとおして、幅広い知識と教養を身につけ、豊かな情操を培うことができるよう工夫しました。(第1号)	P17~21 P24~29
二 論理を知る	*脳の仕組みから人間の存在を理解する教材『自分の脳を知っていますか』をとおして、真理を求め、自他への敬愛と協力を重んずる態度を養えるよう工夫しました。(第1号) (第3号) *自分の興味・関心から課題を見つけ、参考となる情報を整理して紹介する学習活動『構成を考えて話す』をとおし、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培う態度を養えるよう工夫しました。(第2号)	P36~44 P51~53
三 世界をひらく	*ユダヤ人の差別・迫害問題を素材にした教材『ベンチ』をとおし、差別の不当さ、平和の大切さを実感できるよう工夫しました。(第3号) *写真と言葉を組み合わせた表現活動『全ては編集されている』『写真で「事実」を表現する』をとおして、メディアの特徴について知り、社会の形成および参画に生かせるよう工夫しました。(第1号) (第3号) *目的や意図を意識して、集めた情報を分類・整理する活動『材料を整理して案内文を書く』をとおして、幅広い知識と教養を身につけ、真理を求める態度を養えるよう工夫しました。(第1号)	P56~65 P66・67 P68~71 P75~77
四 情報を得る	*『持続可能な未来を創るために』では、持続可能な未来に向けた学びの道筋を示すことで、幅広い知識と教養を身につけ、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養えるよう工夫しました。(第1号) *『エンカル消費』という観点を知り、想像力をはたらかせる文章『「エンカル」に生きよう』をとおして、人や地球環境、社会、地域を考えた行動を促し、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養えるよう工夫しました。(第4号) *森の環境の整備が海の資源の豊かさにつながるということが書かれた文章『森には魔法つかいがいる』をとおして、幅広い知識と教養を身につけ、生命や自然を尊び、環境の保全に寄与する態度を養えるよう工夫しました。(第1号) (第2号) *『健康に長生きするためには』をテーマとした意見文を書く活動『根拠を明確にして意見文を書く』をとおして、健やかな身体を養うにはどうしたらよいのか考えを深められるよう工夫しました。(第1号)	P80~89 P84~88 P90~101 P103~105
五 古典にふれる	*生徒が興味をもって接することができるよう、親しみやすい古典や近代文学の名作を厳選しました。美しい絵や写真を掲載するなど、わが国と中国の豊かな伝統文化にふれることができるように、さまざまな工夫を施しました。(第5号) *『樵陀多』と『お釈迦様』との関係をとおして、善悪をめぐる問題について深く考えることができるよう工夫し、日本を代表する作家の名作『蜘蛛の糸』を読むことによって、わが国の伝統文化を尊重する態度を養えるよう工夫しました。(第3号) (第5号)	P114~117 P118~127 P128~132 P134~143
六 豊かに想像する	*個性的な言葉と豊かな発想で書かれた詩『河童と蛙』にふれることによって、豊かな情操を培い、わが国の言語と文化を尊重する態度を育てることができるよう工夫しました。(第1号) (第5号) *正義と責任、人権や平等といった課題について考える教材『オツバルと象』をとおして、自ら考える態度をもつとともに、公共の精神を追求し続けることができるよう工夫しました。(第3号)	P146~151 P152~170
七 関係を捉える	*国連子どもの権利委員会委員である筆者による「子どもの権利条約」に関する文章『子どもの権利』を読み、人権に対する考えを深めることをとおして、自主及び自律の精神を養い、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参加し、その発展に寄与する態度を養えるよう工夫しました。(第2号) (第3号) (第5号) *『気候変動と教育』を課題とし、その報告を聞く活動『調べた内容を聞く』をとおして、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるよう工夫しました。(第1号) (第3号)	P176~183 P185~187
八 考えを確かめる	*世界遺産である日光の「東照宮」の保護には、『言葉』が重要な役割を果たしているという筆者の主張が書かれた文章『言葉がつなぐ世界遺産』にふれ、わが国の伝統と文化、および日本語を尊重する態度を養えるよう工夫しました。(第5号) *世界的な視点から地域の伝統的な工芸品に新たな魅力を見だし、新たな需要を生み出した日本人の紹介『地域から世界へ』をとおして、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度や、伝統と文化を尊重しそれらを育ててきたわが国と郷土を愛する態度を養えるよう工夫しました。(第2号) (第5号) *『中学生に必要な睡眠時間』についての報告文を評価する活動『報告文を整える』をとおして、健やかな身体を養うにはどうしたらよいのか考えを深められるよう工夫しました。(第1号) *いろいろな意見を結びつけ、整理し、自分たちの感想や考えをまとめる活動『発言を結びつけて話し合う』をとおして、自他の敬愛と協力を重んじ、主体的に社会の形成に参画する態度を養えるよう工夫しました。(第3号)	P206~217 P218~224 P225~227 P229~231
九 表現を捉える	*国内外の著名な詩をまとめた『四季の詩』を読み、豊かな情操を培い、わが国の伝統と文化を尊重するとともに、他国の伝統と文化も尊重する態度を育むことができるよう工夫しました。(第1号) (第5号) *少年の日の苦い思い出を抱えて生きてきた「客」とそれを受け止める「私」との間に、どのような関係性を見いだせるのか考える教材『少年の日の思い出』をとおして、自我の芽生えと発達を経験していく中学生が、自主及び自律の精神を養えるよう工夫しました。(第2号) *『方言と共通語』に関する基本的な知識と教養をとおして、言葉と地域の関係を見つめ、日常用いる言語を客観的に分析し、社会性や法則性に自ら気づくことができるよう工夫しました。(第1号)	P242~244 P246~262 P263 P274~277
付録	*『銀のしずく降る降る』をとおして先住民族であるアイヌの文化にふれることで、わが国の伝統と文化の多様性に気づくとともに、地域の伝統と文化を尊重する態度を養えるよう工夫しました。(第5号) *『理解に役立つ言葉』『表現に役立つ言葉』での語彙のまとめを活用し、日常用いる言語について実践的な知識と教養を身につけ、真理を求める態度を養えるよう工夫しました。(第1号)	P292~301 P318~321



### 3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

#### 学習・指導についての工夫

専門家による校閲を受け、全ての人にとっての学びを保障する「ユニバーサルデザイン」の観点に立って編修しました。

##### 学習に適した書体の使用

活字は、文字としての美しさを考慮しながら、読みやすく、学習に適した書体を用いています。

本文の明朝体やゴシック体は、画数と字形の関係など、漢字学習も考慮した字体を独自に開発しました。また、ユニバーサルデザインに対応した独自の教科書体や、書写教科書筆者の手書き文字（硬筆）を使用し、書くことの習熟に対応しています（巻末の「小学校六年生で学習した漢字」）。



教育出版の明朝体



一般的な明朝体

##### 特別支援教育への対応

各教材での学習内容の重点の明示のほか、紙面のレイアウトでも、文字組みには行間に余裕をもたせたり、紙面の要素が明確になるように区分したりして示すなど、特別支援の観点に対応して教科書全体を構成しています。

##### カラーユニバーサルデザイン

色調のバランスだけでなく、形のうえでも区別しやすいよう工夫したり、色による指示を含んだ設問や色に基づく活動を避けたりして、色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに対応しています。

##### 紙面上のポイントを示す

領域や学習の重点を示すアイコンやマーク、デザインを施し、内容の把握が容易となるよう工夫しています。



話すこと  
聞くこと



書くこと



読むこと



情報・メディア  
と表現

##### 異校種間の連携

1年生冒頭には入門期教材を設け、小中間の円滑な接続を図れるようにしています。さまざまな思考を導く教材学習では、段階的に評論文、論説文の教材を配置しているほか、学年ごとの学習の確認としての「学びのチャレンジ」など、中学校から高等学校へとつながる学びにも対応しています。

##### 個別最適な学びへの対応

生徒一人一人の実態に応じた学びの実現を目ざし、さまざまな工夫を施しています。

「学びナビ」では論理展開を図解したり、思考の方法を図式化して示したりしています。また、「読むこと」教材の「みちしるべ」では、生徒による会話やノートのまとめ方の例を示しています。

「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材、「読むこと」の説明的文章教材では、文型・語型や論理表現、学習用語などの汎用的な知識を「言葉・情報」として取り上げています。また、巻末にその一覧を示すことで、個々の教材と体系的なまとめの両方を活用しながら、学びを深めることができます。

#### デジタル機器を使用した学習への対応

##### デジタル教科書の利便性を向上

教科書と同内容で、特別支援に資する機能を備えた学習者用デジタル教科書や、そこに機能や資料を追加した学習者用デジタル教材・指導者用デジタル教科書（教材）を発行します。デジタル教科書がより効果的で使いやすいものになるよう工夫しています。デジタル端末での視認性を考慮し、本文の行間を広げることで、ルビ等を見やすくしました。また、授業での利便性を高めるため、文の切り取り機能を加えました。

##### 「まなびリンク」との連動

紙面上の二次元コードを通じた、ウェブサイトで参照できる資料等の充実により、学習への意欲を高め、学びを活性化し、確かなものにすることができます。（例：教材理解のための補足資料・画像・動画等）



##### 学習者用端末の活用

「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読書」「情報・メディアと表現」など、各領域等の学習内容に応じて、学習者用端末を効果的に活用できる活動を設定しました。



#### その他

##### カリキュラム・マネジメントへの対応

「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材を中心に、他教科の学習に合わせた柔軟な扱いが可能になるよう、教科間の円滑な連携が図れるよう考慮しています。他教科の学習という実際の言語活動に活用されることで、実生活で生きてはたらく言葉の力を育むことにつながります。（例：「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材の「学びを生かす」）

##### 人権上の配慮

社会の多様性を踏まえ、人権を尊重し、あらゆる差別をなくすため、イラストや図版も含め教科書内の表現を工夫しています。



# 編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
105-86	中学校	国語科	国語	第1学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
17教出	国語017-72	伝え合う言葉 中学国語 1		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

特色

1

### 自覚的な学びをいざなう

「学びが見える教科書」

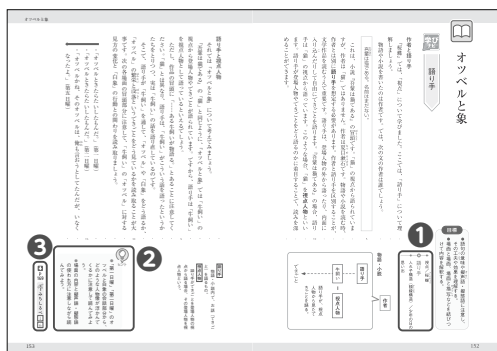
## 学びナビ

教材を読み深めていくための視点を教材の前に示すことで、生徒が学びへの見通しと期待感をもてるよう、主体的・対話的で深い学びの実現を目指します。

### ■読むこと

#### 読み深めるための方法を解説

教材をとおして身につけたい思考の方法を取り上げ、解説しています。学年の中で、系統的な学習を行えるように配置しています。



P152・153「オツベルと象」 「学びナビ」に関連する設問を明示。学びをつなげます。

#### ①学びナビマップ

学習の現在地を表示。既習事項や今後の学習と合わせて確認できます。

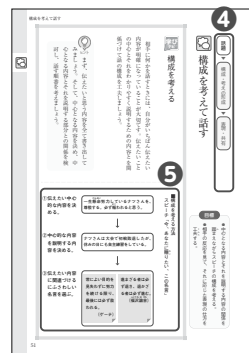
#### ②ヒント

「学びナビ」を生かして教材の理解を深めるためのヒントを掲載しています。

#### ③みちしるべ(手引き) 関連設問

### ■話すこと・聞くこと

#### ■書くこと



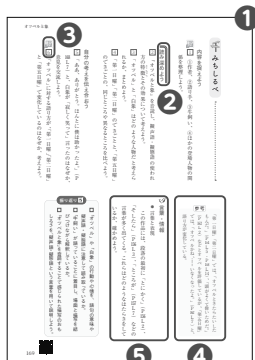
P51「構成を考えて話す」

#### ④学習活動の流れと重点の明示

#### ⑤思考の方法の図式化(見える化)

## みちしるべ

「学びナビ」を踏まえた学習の手引きを設置し、生徒が自分の力で読みを深めて伝え合う、主体的で協働的な学びの実現を目指します。



P169「オツベルと象」

#### ①学習のプロセスに即した構成

- ・内容を捉えよう…**構造と内容の把握**
- ・読み深めよう…**精査・解釈**
- ・自分の考えを伝え合おう…**考えの形成、共有**

#### ②重点指導事項の明示

その教材での最重点指導事項に対応した学習活動を見た目にもわかりやすく示しました。学習の自覚化につなげます。

#### ③「学びナビ」に関連する問い

「学びナビ」で学習した読みの観点を活用する問いを設定しています。

#### ④生徒の学びに寄り添う「参考」

- ・問いを考えるための着眼点
- ・生徒によるノートのとめ方の例
- ・生徒による会話例

#### ⑤言葉・情報

語彙を豊かにしたり、文章の中の情報を理解したりするための、言葉や表現を取り上げ、自分の考えの形成に生かせる着眼点を示しています。

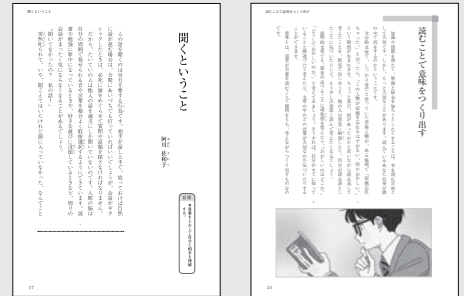
「主体的・対話的で深い学び」を実現する教材

- 言葉の力を着実に高めるため、指導事項や学習活動の重点を明確にし、学習する内容を段階的に設定しています。
- 各単元では、「思考力、判断力、表現力等」領域の教材を軸に、読書、言語、漢字等の教材をバランスよく組み合わせ、さらに年間でも領域・指導事項の偏りがないように構成し、反復的、螺旋的に言語力を高めることができます。
- 生徒たちは、目的意識や必然性・必要感を重視したさまざまな教材をとおして、多様な言葉と出会い、言語力の高まりを実感することができます。

■中学校での言葉の学習をひらく入門期教材

- 冒頭単元では、国語を学ぶ意義を意識することにつながる導入教材を設定。『聞くということ』（阿川佐和子）を中心に、表現すること、読むことの学習の始まりにふれ、中学校での国語学習に向かう生徒の期待感を高めます。

左：P17『聞くということ』  
右：P23『読むことで意味をつくり出す』



■■■「思考力、判断力、表現力等」の教材について■■■



思考に支えられた表現力を培う「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材

- 「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材では、学習活動の流れと重点となる指導事項のつながりを明確に示し、他者の表現を受容し、自らの表現力を高める構成にしています。



豊かな読み、論理的な読みの力を高める「読むこと」教材

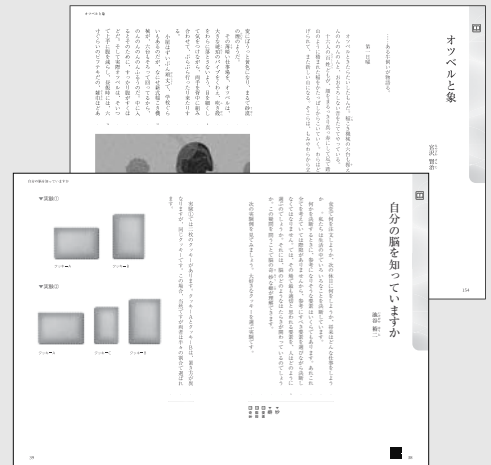
- 学習指導要領の指導事項の重点を、学習のプロセスの順に設定し、年間の学習が進むにつれて、読む力の高まりを実感できる構成にしています。

〈文学的な文章〉

- 新たな言葉の世界と出会い、読むことの楽しさを味わうとともに、自分自身について考えたり、他者との関わり方や、自分を取り巻く社会に目を向け、人としての生き方について学んだりすることができる作品を取り入れています。

〈説明的な文章〉

- 現代的で多様な話題を取り上げ、文章内容を的確に捉える力、論理的に文章を分析し、考える力を養う教材を設定しています。



上：P154・155『オツベルと象』  
下：P38・39『自分の脳を知っていますか』

■■■「伝統的な言語文化」の教材について■■■



古典世界の豊かさを学ぶ 伝統的な言語文化教材

- 長く親しまれてきた昔話と古典とのつながりを紹介するなど、言語文化を楽しみ、継承する意義を実感し、自らの言語感覚を豊かにできるような作品を選定しました。
- 作品世界の理解を深める写真や絵画、図版などを掲載し、視覚的にも古典の世界へいざなわれ、享受できるよう工夫しています。

P126・127『竹取物語』



# その先の未来に生きる 「学びがつながる教科書」

## 授業にとどまらない学びを実生活や未来を見つめる視点につなげる

### ■読みを深め協働的な学びを促すSDGs教材

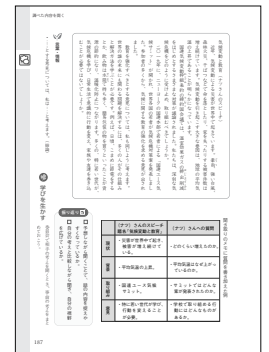
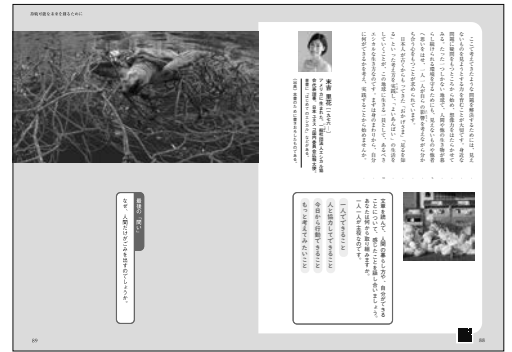
SDGs教材『持続可能な未来を創るために』を設けています。複数の文章を比較して読むことにより、論理的な思考力を高め、読みを深められるようにしています。また、多様な立場や考えを知り、交流をすることで対話力を高め、協働的な学びを実現します。

### ■情報活用の力と表現力を育てる情報・メディア教材

写真や広告などを扱う「情報・メディアと表現」を設けました。メディアの仕組みや工夫を学ぶことで、多様なテキストを評価したり、情報を活用したりすることができるようにしています。さらには得た情報を整理し、自分の考えを適切に伝える表現力を養います。

### ■他教科の学習や実生活に生きる活用例「学びを生かす」

「話すこと・聞くこと」「書くこと」の教材末尾に「学びを生かす」という項目を設けています。カリキュラム・マネジメントについて考慮しており、国語科での学びを、他教科等の言語活動で活用することによって、実生活に生きる力を育みます。



上 SDGs教材：P88・89「持続可能な未来を創るために」  
 中 情報・メディア教材：P70・71「写真で「事実」を表現する」  
 下 「学びを生かす」：P187「調べた内容を聞く」

## ◆検討の観点と内容の特色



検討の観点	内容の特色
<b>1 教育基本法・学習指導要領への対応</b>	
①教育基本法	* 現代の諸課題に言葉の教育という側面から応え、新たな時代を切り拓いていくことのできる生徒を育てることを主眼としています。国語科として、生徒が言語活動をとおして、人（他者）と交わりながら共に生きていく視点を持ち、自ら学び、自ら生きる力を培えることを目指しています。
②学習指導要領	* 言葉による見方・考え方をはたらかせ、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を高めるために、各領域等での教材を工夫しています。 * 各単元や教材の目標、内容を明確に示し、3学年で系統的・段階的に学習が進められるよう構成しています。
<b>2 教科書の構成と内容</b>	
①全体の構成・配列	* 指導内容を螺旋的・反復的に繰り返して学力向上を図った指導ができるように、学年間と学年を通しての系統的な単元構成を意図しています。 * 教科書全体を、必須・必修教材を中心に単元化した本教材（第1、2学年9単元、第3学年8単元）と、学習時期を柔軟に扱ったり、補充・参考として扱ったりする小教材、資料などとに分け、学習内容に応じて効率的、効果的に年間の学習計画が組み立てられるよう構成しています。 * 1年間を通じて各領域等の教材を偏りなく配列し、定期考査など学習評価に際してもバランスが取れるようにしています。また、3学年で体系的に展開できるよう、前後の学年との単元構成を系統化しています。
②教材選定	* 未来の社会の担い手となる中学生が、現在、あるいは将来に向き合う、SDGsを踏まえた現代的な課題を積極的に取り上げています。 * 以下のポイントを考慮した教材選定を行っています。 SDGsに基づく国語科の「不易」と「流行」／豊かな人間性・社会性／多様性への理解／生命の尊重／科学的・論理的な考察／環境教育・自然保護／国際協調や平和／豊かな情操・心の発達／安全・安心・防災／郷土や地域を愛する心／伝統的な言語文化／日本の伝承／勤労の意義とものづくり／食育／先達の言葉や生き方にふれる／情報活用／メディア・リテラシーへの対応／コミュニケーション力／実用的な文章／「読むこと」読書関連単元



③他教科等との関連	<p>* SDGsも視野に入れた幅広い分野からの話題を取り上げ、他教科等の内容との連携について考慮しています。</p> <p>* 表現に関する教材を中心に、他教科の学習に合わせて柔軟に取り組むことにより、他教科の学習を下支えすることができるよう考慮されています。他教科の学習という実際の言語活動に活用されることで、実の場で生きる言葉の力を育むことにも通じます。また、教材の末尾に「学びを生かす」の欄を設け、他教科や日常生活、社会生活などへの関連を示しています。</p> <p><b>社会</b>：歴史や公民に関する教材を掲載しています。裁判員制度に関する教材を掲載しています。</p> <p><b>理科</b>：自然や環境、最新の科学について話題にした教材を多く取り上げています。</p> <p><b>道徳</b>：教育基本法や学校教育法への対応を踏まえ、各領域・事項の教材で、生命・平和・友情・人権・福祉・環境・公共・心の発達などに関わる話題・題材を取り上げています。</p>
④学習の系統性の重視	* 学習内容の明確化、焦点化を図り、学習の見通しをもたせるため、教材ごとに重点的に学ぶ事項を設定し、「学びナビ」「ヒント」「目標」などで示すことで、生徒が自らの学習を認識し、次の学習へと向かえるよう工夫しています。
⑤学習過程の明確化	<p>* 「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材では、学習の過程が明確となるよう、学習の進め方と重点を教材の冒頭や学習活動の手順「学習活動の流れ」に明示し、目標で設定した重点的な指導事項と活動との対応も示しています。</p> <p>* 「読むこと」教材では、学習の手引き「みちしるべ」において、主として「構造と内容の把握」を扱う「内容を捉えよう」、「精査・解釈」を扱う「読み深めよう」、「考えの形成・共有」と言語活動を扱う「自分の考えを伝え合おう」の3段階の学習のステップを提示し、目標で設定した重点的な指導事項との対応も示しています。</p>
⑥言語活動の充実	<p>* 「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材では、教材名や目標でも言語活動を明示し、さらに、「目標」「学習活動の流れ」で、学習の見通しと重点、言語活動を示しています。</p> <p>* 「読むこと」教材の学習の手引き「みちしるべ」での「自分の考えを伝え合おう」で示される学習課題は、授業での言語活動として取り組むことを盛り込んでいます。</p>
⑦読書に親しみ、生涯の読書生活への基盤を築く	<p>* 学校図書館を計画的に利用しその機能の活用を図ったり、インターネットなどを適正に活用したり、読書交流を行ったりする教材を全学年に設けています。</p> <p>* 付録『言葉の自習室』では、読書作品として、多様な文種や話題の作品を掲載しています。また、巻末の見返しには『「ふるさと」を巡る』を設け、各都道府県を代表する作家と作品を写真とともに紹介し、読書へのいざないを図っています。</p> <p>* 各単元の教材の内容に関連した図書を、単元ごとに『広がる本の世界』を設けて紹介しています。また、デジタル資料「まなびリンク」では、図書館司書の仕事や図書館活用と関連させた図書紹介を行っています。(教科書263冊+まなびリンク71冊=計334冊)</p>
<b>3 文字・表記・図版・資料</b>	
①文字・活字・書体	* 活字は文字としての美しさと、点画など文字学習を考慮した書体を用いています。
②ユニバーサルデザインフォント	* 一部にユニバーサルデザインに対応した書体（ユニバーサルデザインフォント）や、デジタル機器で表示した際の視認性が向上した書体を採用しています。
③表記・表現	* 表記・表現については、3学年を通して基準を統一し、適切な表記の仕方・用法が身につくよう考慮しています。
④挿絵・図版・写真	* 挿絵・図版・写真は、生徒の学習意欲を高めるもの、文章の理解を助ける資料性の高いものや、生徒の想像を膨らませるイメージ豊かなもの、活動の手順や留意点をわかりやすく示すものなど、学習上必要なものを効果的に取り上げています。
<b>4 特別支援教育や色覚特性などへの配慮</b>	
①特別支援教育への対応	<p>* 文字と、イラストや図表、模様などとの空きや重なりに注意したり、マークやデザインの使用を统一的に整理したりするなど、教材の重点に集中でき、内容が把握しやすいレイアウトを工夫しています。</p> <p>* 各領域等の教材で、学習の見通しや授業過程、重点をおさえた教材化を図り、学習のユニバーサル化に対応しています。</p>
②カラーユニバーサルデザイン	<p>* 学年の基本色を設定し、统一的で落ち着いた色づかいとデザインを採用しています。</p> <p>* イラストや図版は、内容が区別できるよう色づかいと色彩のバランスを考え、形のうえでも区別しやすいようにしたり、色による指示を含んだ設問や色に基づく活動を避けたりして、生徒の負担感をなくす工夫をしています。</p>
<b>5 デジタル機器を使用した学習への対応</b>	
①「まなびリンク」(二次元コード)との連動	* 教材内容に応じて「まなびリンク」を設け、学習時に参照できる生徒の自学自習に資する資料や、参考図書、参考作品、動画・画像資料などを教育出版のウェブサイトで見られるようにしています。
②学習者用端末の活用	* 発達段階に応じた、学習者用端末を効果的に活用できる学習活動を設定しています。
③デジタル教科書・教材	* 教科書と同内容で、特別支援に資する機能を備えた学習者用デジタル教科書や、朗読音声や資料を追加した学習者用デジタル教材・指導者用デジタル教科書（教材）を発行します。
④デジタルへの対応	* デジタル教科書がより使いやすいものになるよう工夫しています。デジタル端末での視認性を考慮し、本文の行間を広げることで、ルビ等を見やすくしました。また、授業での利便性を高めるため、文の切り取り機能を加えました。
<b>6 造本・印刷・デザイン</b>	
①造本・印刷	<p>* 表紙は堅牢で環境にやさしい特殊コーティングを採用。</p> <p>* 紙は軽量ながら裏写りのない再生紙、印刷は植物を原料とした植物油インキを使用しています。</p>
②紙面デザイン	<p>* 学年の発達段階を踏まえ、1年生と2、3年生とでは、基本の字詰め・行数を変えるなどの工夫をしています。イラストや図表などと文字の空きも十分とり、識別しやすいようなレイアウトにしています。</p> <p>* 文字と、イラストや図表、模様などとの空きや重なりに注意したり、マークやデザインの使用を统一的に整理したりするなど、教材の重点に集中でき、内容が把握しやすいレイアウトを工夫しています。</p>

## 2. 対照表

該当箇所 (ページ)	図書の内容・内容	学習指導要領の内容			配当時数					
		知識 及び技能	思考力、判断力、表現力			知・技	話・聞	書く	読む	計
			話すこと ・聞くこと	書くこと	読むこと					
<b>一 学びをひろく</b>										
P17~21	《随筆》 聞くということ 阿川佐和子	(1)ウ			(1)イオ (2)イ				1	1
P22	《話すこと・聞くこと》 お気に入りの一品を紹介する	(1)ア	(1)ア (2)ア				2			2
P24~29	《物語/小説》 桜蝶 田丸雅智	(1)ウ			(1)イウ (2)イ				4	4
P30 P278~280	《文法の小窓・解説 1》 言葉の単位	(1)エ					2			2
P31	《言葉と社会 1》 言葉とコミュニケーション	(1)アウ	(1)ウ							☆
P34	《伝統文化》 四季のたより 春 草萌	(3)ア								☆
<b>二 論理を知る</b>										
P36~44	《説明》 自分の脳を知っていますか 池谷裕二	(2)ア			(1)アウ (2)ア				5	5
P45~47	《書くこと》 資料をもとに紹介文を書く	(1)エ		(1)イ (2)イ				6		6
P48・49	《漢字の広場 1》 漢字の部首	(1)イ				1				1
P50 P266~269	《言葉の小窓・解説 1》 日本語の音声	(1)ア				2				2
P51~53	《話すこと・聞くこと》 構成を考えて話す	(2)イ	(1)イウ (2)ア				4			4
<b>三 世界をひろく</b>										
P56~65	《読書》 ベンチ ハンス＝ペーター＝リヒター 上田真而子 訳	(3)オ		(1)ア (2)ア	(1)イウ (2)ウ			1	3	4
P66~71	《情報・メディアと表現》 全ては編集されている 池上彰/写真で「事実」を表現する	(2)ア		(1)ア (2)ウ	(1)ウ (2)ウ			1	1	2
P72・73	《漢字の広場 2》 画数と活字の字体	(1)イ				1				1
P75~77	《書くこと》 材料を整理して案内文を書く	(2)イ		(1)ア (2)イ				5		5
P78	《伝統文化》 四季のたより 夏 涼し	(3)ア								☆
<b>四 情報を得る</b>										
P80~89	《総合 (SDGs)》 持続可能な未来を創るために——人の暮らし方を考える/ 「エンカル」に生きよう 末吉里花	(2)アイ	(1)アオ (2)イ	(1)アウ (2)ア	(1)オ (2)アウ		1	1	1	3
P90~101	《説明》 森には魔法つかいがある 畠山重篤	(2)ア		(1)オ (2)ア	(1)アエオ (2)ア			1	4	5
P102 P281~285	《文法の小窓・解説 2》 文の成分	★2(1)ア (2年(1)オ)				3				3
P103~105	《書くこと》 根拠を明確にして意見文を書く	(2)ア		(1)ウ (2)ア				5		5
P106~109	《情報・メディアと表現》 広告の情報を考える	(2)イ		(1)ア (2)イ	(1)ウ (2)ウ			1	1	2
P112	《伝統文化》 四季のたより 秋 爽やか	(3)ア								☆
<b>五 古典にふれる</b>										
P114~117	《古文》 昔話と古典——箱に入った桃太郎——	(3)アイ			(1)イ (2)イ		1			1
P118~127	《古文》 物語の始まり——竹取物語——	(3)ア			(1)イ (2)イ		4			4
P128~132	《漢文》 故事成語——中国の名言——	(3)ア			(1)イ (2)イ		3			3
P134~143	《読書》 蜘蛛の糸 芥川龍之介	(3)オ			(1)イ (2)ウ		2			2
<b>六 豊かに想像する</b>										
P146~151	《詩》 河童と蛙 草野心平	(1)オ			(1)エ (2)イ				2	2
P152~170	《小説》 オツベルと象 宮沢賢治	(1)ウ			(1)ウ (2)イ				7	7
P171	《書くこと》 随筆を書く	(1)ウ		(1)エ (2)ウ				4		4
P172 P270~273	《言葉の小窓・解説 2》 日本語の文字	★2(1)ア (小5・6(3)ウ) (1)イ				1				1
<b>七 関係を捉える</b>										
P176~183	《説明》 子どもの権利 大谷美紀子	(1)ウ	(1)イ (2)ア		(1)エ (2)ア		1		3	4
P184	《言葉と社会 2》 イメージを言葉にする	(1)ウ	(1)ア	(1)ア						☆
P185~187	《話すこと・聞くこと》 調べた内容を聞く	(2)イ	(1)エ (2)ア			3				3
P188・189	《漢字の広場 3》 漢字の音と訓	(1)イ				1				1
P192~204	学びのチャレンジ	(1)ウ (2)ア (3)オ		(1)アイウ	(1)アイエオ					☆
<b>八 考えを確かめる</b>										
P206~224	《報告》 言葉がつなぐ世界遺産 橋本典明/ 《参考》 地域から世界へ——ものづくりで未来を変える—— 関根由子	(2)ア			(1)ア (2)ア				5	5
P225~227	《書くこと》 報告文を整える	(1)オ		(1)エ (2)ア				4		4
P228 P286~290	《文法の小窓・解説 3》 単語のいろいろ	(1)エ				3				3
P229~231	《話すこと・聞くこと》 発言を結びつけて話し合う	(2)ア	(1)オ (2)イ				4			4
P232~235	《情報・メディアと表現》 漫画で「物語」を表現する	(2)イ			(1)ウ (2)ウ				2	2
P236・237	《漢字の広場 4》 熟語の構成	(1)イウ				1				1
P240	《伝統文化》 四季のたより 冬 寒木	(3)ア								☆
<b>九 表現を捉える</b>										
P242~244	《詩》 四季の詩 安西冬衛/ジャン＝コクトー 堀口大祐 訳/八木重吉/三好達治	(1)オ		(1)エ (2)ウ	(1)エ (2)イ			1	1	2
P246~262	《小説》 少年の日の思い出 ヘルマン＝ヘッセ 高橋健二 訳	(1)ウ			(1)イ (2)イ				7	7
P263 P274~277	《言葉の小窓・解説 3》 方言と共通語	(3)ウ				1				1

\*「知識及び技能」欄の★印は、「内容の取扱い」の項目を示しています。

計118時間（うち、話すこと・聞くこと15時間、書くこと30時間）

\*配当時数の「計」欄の☆印の教材は、適宜扱うものです。

\*授業時数の配分は、学校行事等を考慮し、ゆとりをもって作成しています。

\*表内の「学習指導要領の内容」の記載は、その教材の重点指導事項を中心に示しています。